



つ
徹

～ やりぬこう ～

美和中学校

28. 12. 6

NO. 23

**人権週間
(12月4日～12月10日)。**

**わたしの「ふつう」と、あなたの「ふつう」はちがう。
それを、わたしたちの「ふつう」にしよう。**

一人ひとり、「ちがい」があるのは当たり前。
多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。

愛知県 人権啓発ポスターより

昭和23年12月10日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して12月10日を「人権デー」としています。国内では、12月4日から12月10日(人権デー)までの1週間を「人権週間」として、全国的な啓発活動が行われます。

この人権週間を機会に、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみましょう。



＜いじめ防止標語＞

- ・ あの子キライ ねらわれたまとは うつむいた 向島 佑奈
- ・ きこえてる？ あなたの助けを求める声が 水谷 せれん
すくったら あなたの世界は かがやくよ
- ・ 言われた悪口 聞いた悪口 言った悪口 全部悲しかった 佐藤 未幸
- ・ 気づかない その一言で 傷つくよ 須田 海里
- ・ 「助けてよ」 いじめられたら 言えますか？ 吉川 未悠
- ・ なくそうよ 言葉の暴力によるいじめ 水谷 玲奈
ふやそう 救いの言葉を かけられる優しさ
- ・ 「助けてよ」 聞こえないフリ するけれど それは声から 逃げているだけ 中村 知優
- ・ 過去の言葉は よくも悪くも 取り消せぬ 岩本 大輝
- ・ 「こわいから」という理由で助けない 長田 沙紀
けど一番こわくてつらいのはいじめられてる子
- ・ いじめる人 いじめられる人 何が違うの？ 安井 彩乃
- ・ おわっても 恐怖は残る こわいもの 江坂 舞
- ・ 空気のさまよう 言葉のナイフ それをつかんで突き刺してみる 堀田 紗世
その子はどんな顔をする？
- ・ いじめをさ 自分がやられたら どう思う 原 佑真
- ・ 自分だけ 相手はわからない 心の関係 駒瀬 大貴
- ・ いじめをすると 自分に返ってくるぞ 蛭川 涼太
- ・ 「おはよう」 その一言がなくなったら いじめのはじまり 横井 まりな
- ・ 言うときは 相手の気持ちを 考えて 佐藤 駿
- ・ 目に見える傷は治っても 目に見えない傷は治らない 江坂 彪太
- ・ みんなの顔を見なよ 1人1人違うんだよ 1人1人大切な命なんだよ 林 荘吾
いじめる理由なんてどこにもないんだよ
- ・ 見ないふり 気づかないふり SOSを無視しないで 林 芹渚
- ・ 勇気の芽 その芽を育て 強くなれ 井上 京香
- ・ 一人一人 世界の心を 大切に 武川 琴美
- ・ 笑顔でも 心はずっと 泣いている 杉本 明希
- ・ いじめても 得られるものは 何も無い 柏子見 素凧
- ・ いじめをね 止める権利は 君にある 柴山 真里亜
- ・ 分かるかな こわくて 泣いても 消えないの 恩澤 楓
- ・ 仲間はずれ 「やめてやれよ」と 皆で言う 宮崎 冠汰
- ・ 手助けは 自分も変えられる 権利だよ 森川 誌穂
- ・ 「知らなかった」 責任逃れは もうやめよう 西村 健吾
- ・ 「大丈夫」 そんな一声 かけようよ 久米 剣信
- ・ その言葉 相手の心に あながあく 山内 玲奈
- ・ それぞれの個性を認める 人でいよう 北川 麻耶
- ・ 何気ない あなたの言動が 誰かの心を傷つける 石田 咲妃
- ・ その心 もっと傷つけるか癒やすかは あなた次第 内山 貴敬
- ・ 悪ふざけ そんな言い訳 通じない 牛田 海晴
- ・ 周りの目 映る自分は どんな人 仲 美波
- ・ 誰だって たった1つの 命だよ 六笠 真緒
- ・ やめよういじめ 進めよう優しさ 松村 健吾
- ・ 「やめてよ」は言えないけれど 「やめなよ」とは言える 石堂 将悟
- ・ 考えよう 一言一言の 言葉の重み 石原 真帆
- ・ 見て見ない ふりするあなたも 共犯者 奥村 真帆